



平成26年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月10日

上場会社名 浜松ホトニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6965

URL <http://www.hamamatsu.com/ja/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 晝馬 明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 嶋津 忠彦

TEL 053-452-2141

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第1四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第1四半期	26,156	10.8	4,158	19.6	4,337	13.4	3,073	19.6
25年9月期第1四半期	23,612	△0.3	3,477	△18.6	3,826	△14.1	2,568	△12.4

(注) 包括利益 26年9月期第1四半期 4,820百万円 (10.0%) 25年9月期第1四半期 4,379百万円 (60.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第1四半期	38.23	—
25年9月期第1四半期	31.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年9月期第1四半期	203,046	77.1	157,030	77.1	77.1
25年9月期	198,278	77.6	154,385	77.6	77.6

(参考) 自己資本 26年9月期第1四半期 156,507百万円 25年9月期 153,873百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	23.00	—	27.00	50.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年9月期期末配当金の内訳 普通配当 23円00銭 記念配当 4円00銭

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	54,400	7.8	8,800	3.7	8,900	△2.0	5,900	2.9	73.39
通期	110,500	8.2	18,100	7.9	18,300	2.3	12,600	9.3	156.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期1Q	83,764,984 株	25年9月期	83,764,984 株
26年9月期1Q	3,370,291 株	25年9月期	3,370,195 株
26年9月期1Q	80,394,750 株	25年9月期1Q	80,394,959 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経営環境は、各種経済政策や金融緩和策による円安や株高が進行する中、企業収益の改善を背景に設備投資は持ち直し、個人消費も底堅く推移するなど、緩やかに景気が回復する中で推移いたしました。

このような状況におきまして、当社グループは、長年に渡り培ってきた当社独自の光技術を活かした研究開発を推進し、顧客ニーズに応えた新製品や新技術を開発するとともに、積極的な設備投資を継続することで、売上高、利益の増加に努力してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は26,156百万円と前年同期に比べ2,544百万円(10.8%)の増加となりました。また、利益面につきましても、営業利益は4,158百万円と前年同期に比べ681百万円(19.6%)の増加、経常利益は4,337百万円と前年同期に比べ511百万円(13.4%)の増加、四半期純利益は3,073百万円と前年同期に比べ504百万円(19.6%)の増加となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[電子管事業]

光電子増倍管は、産業分野におきましては売上げが伸び悩んだものの、医用分野におきまして、PET用などの核医学検査装置向けの売上げが増加いたしました。また、イメージ機器及び光源は、医用分野におきまして、X線画像を可視像に変換するX線シンチレータの売上げが増加したほか、産業分野におきまして、X線非破壊検査用のマイクロフォーカスX線源の売上げが堅調に推移いたしました。

この結果、電子管事業といたしましては、売上高は10,985百万円(前年同期比11.1%増)、営業利益は3,808百万円(前年同期比8.0%増)となりました。

[光半導体事業]

光半導体素子は、医用分野におきまして、フラットパネルセンサが歯科用CT向けを中心に売上げを伸ばしたほか、主力のシリコンフォトダイオードも、医用分野及び産業分野におきまして売上げを伸ばしました。

この結果、光半導体事業といたしましては、売上高は11,910百万円(前年同期比17.6%増)、営業利益は3,834百万円(前年同期比25.3%増)となりました。

[画像計測機器事業]

画像処理・計測装置は、バイオ分野などにおきまして、デジタルカメラの売上げが堅調に推移したものの、産業分野におきまして、半導体故障解析装置の売上げが減少したほか、医用分野におきましても、新薬の開発等に用いられるFDS S(ドラッグスクリーニングシステム)の売上げが伸び悩みました。

この結果、画像計測機器事業といたしましては、売上高は2,556百万円(前年同期比13.5%減)、営業損失は22百万円(前年同期は営業利益246百万円)となりました。

[その他事業]

主に半導体レーザー事業及びホテル事業等であります。

当セグメント(その他)の売上高は704百万円(前年同期比9.4%増)、営業利益は84百万円(前年同期は営業損失61百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産の主な変動は、現金及び預金が1,611百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が1,810百万円、たな卸資産が1,140百万円それぞれ増加したことなどから、流動資産は前連結会計年度末に比べ1,187百万円増加しております。

固定資産の主な変動は、建設仮勘定の増加などにより、有形固定資産が3,530百万円増加したことから、固定資産は前連結会計年度末に比べ3,580百万円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4,768百万円増加し、203,046百万円となりました。

流動負債の主な変動は、支払手形及び買掛金が2,324百万円減少したものの、設備関係支払手形（流動負債その他）が3,103百万円、電子記録債務が2,481百万円それぞれ増加したことから、流動負債は前連結会計年度末に比べ2,500百万円増加しております。

固定負債の主な変動は、退職給付引当金が334百万円減少したことから、固定負債は前連結会計年度末に比べ377百万円減少しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ2,123百万円増加し、46,015百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が899百万円増加したほか、為替換算調整勘定が1,745百万円増加したことなどから、当第1四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べ2,645百万円増加し、157,030百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想につきましては、平成25年11月11日付けで公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想の前提となる為替レートにつきましては、1米ドル=95円、1ユーロ=130円を想定しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,603	76,991
受取手形及び売掛金	24,183	25,993
商品及び製品	6,277	6,815
仕掛品	12,977	13,186
原材料及び貯蔵品	5,849	6,244
その他	5,062	4,924
貸倒引当金	△158	△172
流動資産合計	132,795	133,983
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,485	21,173
機械装置及び運搬具（純額）	7,801	7,930
工具、器具及び備品（純額）	3,391	3,425
土地	15,822	15,931
リース資産（純額）	207	195
建設仮勘定	4,831	8,416
有形固定資産合計	53,541	57,072
無形固定資産		
投資その他の資産	1,697	1,744
投資有価証券	2,412	2,413
繰延税金資産	6,217	6,182
その他	1,633	1,668
貸倒引当金	△18	△19
投資その他の資産合計	10,243	10,245
固定資産合計	65,482	69,063
資産合計	198,278	203,046
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,752	4,427
電子記録債務	4,432	6,913
短期借入金	1,380	1,388
1年内返済予定の長期借入金	186	184
未払法人税等	1,418	1,506
賞与引当金	3,156	1,604
その他	9,951	13,752
流動負債合計	27,277	29,777

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
固定負債		
長期借入金	7,084	7,038
退職給付引当金	7,609	7,274
その他	1,921	1,923
固定負債合計	16,614	16,237
負債合計	43,892	46,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,928	34,928
資本剰余金	34,672	34,672
利益剰余金	90,309	91,208
自己株式	△6,048	△6,049
株主資本合計	153,862	154,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	541	531
為替換算調整勘定	△530	1,215
その他の包括利益累計額合計	11	1,746
少数株主持分	512	523
純資産合計	154,385	157,030
負債純資産合計	198,278	203,046

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
売上高	23,612	26,156
売上原価	11,893	12,834
売上総利益	11,718	13,322
販売費及び一般管理費	8,241	9,163
営業利益	3,477	4,158
営業外収益		
受取利息	48	56
投資不動産賃貸料	8	7
為替差益	226	51
持分法による投資利益	30	19
その他	78	78
営業外収益合計	391	213
営業外費用		
支払利息	26	21
不動産賃貸費用	12	12
その他	2	1
営業外費用合計	41	35
経常利益	3,826	4,337
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	6	2
固定資産除却損	6	8
特別損失合計	13	10
税金等調整前四半期純利益	3,814	4,327
法人税等	1,234	1,241
少数株主損益調整前四半期純利益	2,579	3,086
少数株主利益	10	12
四半期純利益	2,568	3,073

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,579	3,086
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	136	△10
為替換算調整勘定	1,672	1,745
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	△1
その他の包括利益合計	1,800	1,733
四半期包括利益	4,379	4,820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,376	4,808
少数株主に係る四半期包括利益	3	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	9,886	10,125	2,955	22,967	644	23,612	—	23,612
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	322	120	12	456	178	634	△634	—
計	10,209	10,246	2,967	23,423	822	24,246	△634	23,612
セグメント利益又は 損失(△)	3,526	3,058	246	6,831	△61	6,769	△3,292	3,477

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザー事業及びホテル事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△3,292百万円には、セグメント間取引消去△187百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,105百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	10,985	11,910	2,556	25,452	704	26,156	—	26,156
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	298	172	8	479	284	764	△764	—
計	11,284	12,083	2,564	25,932	989	26,921	△764	26,156
セグメント利益又は 損失(△)	3,808	3,834	△22	7,620	84	7,704	△3,546	4,158

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザー事業及びホテル事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△3,546百万円には、セグメント間取引消去△287百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,258百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。